

チームでつくる

元気な医院

⑤



デンタルタイアップ
代表

小原 啓子

ひと月で、3件の歯科医院において行われた理念公開に立ち会いました。どの歯科医院の院長も、30分以上かけて、生い立ちから始まって、幼少時の親との関係、家庭環境、学生時代、そしてなぜ歯科医師になったのか、そして、

自分自身を変えざるきっかけとなった教育的指導者にとり、どのように巡り会い、何を感じ取ったのか、開業した時の決意や、なぜ理念公開をするのかを語りました。

その間、スタッフは静かに院長の話を聞きながら涙します。それは、院長の言葉に決意とやさしさ、志を感じるからでしょう。私も、いつもほろりとさせられます。

理念公開での涙

院長は苦しいと言われ、その中で、自身ならではのキーワードを見つけ、少しずつ、ぶれない一つの理念、三つのビジョン、九つの戦略、21の戦術、そして明日からでもすべきことが創られていきます。

理念は、院長としての使命です。まさに命を張って成し遂げること。これを、どのように自分の気持ちとして固めるのか、また、どのように伝えていくのか、理念作りに向けた3カ月間が思い出されます。

本気で語れば、必ず人の心は動きまわります。そしてスタッフに新たな気持ちが生え、歯科医療サービスをとともにどのように考えていけばいいのかとの想いが募ります。

院長の理念公開後はプレインストミニングを行い、歯科医院で何ができるかを語り合います。そうすれば、この日は歯科医院の記念日として刻まれるはず。

事実、それから以降は、何うたに組織としての成長を感じることができています。戦略経営の基本は理念にあります。理念への思いをみんな語り合うことが、何にも増して大切なのです。

実は、院長の理念を組み立てるために、3カ月お付き合いしてきました。ス

(月一回掲載)

